

第17回関東地区カトリック中高宗教部会

「祈りの喜びを伝えるために」

2016/11/05

片山はるひ

ノートルダム・ド・ヴィ (<http://www.ndv-jp.org>)

上智大学 (haruhi.kt.sophia@gmail.com)

はじめに テゼとワールドユースデイ、中高静修会での体験と確信

「若者は真に祈る時、真の喜びを得る」

モラルとしてのキリスト教から、解放・成熟・幸福の道としてのキリスト教へ

「さいわいなるかな」

1) 祈りの人間学

<参考書『カトリック教会のカテキズム』第4編 キリスト教の祈り>

「わたしにとって、祈りとは心のほとぼしりです。天に向ける素朴なまなざしです。辛いときにも、うれしいときにも天に向けてあげる、感謝と愛の叫びです。」

幼きイエスの聖テレーズ

・祈りとは、生きておられる神・愛である神との人格的な交わり、対話。

2566 神を探し求める人間 → 人間は神へのあこがれを抱いている存在

27 人間は、神によって、神に向けて造られている。

「あなたはわたしたちを、ご自分に向けてお造りになりました。ですから、わたしたちの心は、あなたのうちに憩うまで安らぎを得ることができないのです。」

アウグスチヌス

「この世俗化した世界で人間の魂は、神、生ける神に渴いている」

2567 神が先に人間を呼んでおられる。→祈りは、この神の招きへの応答。

<内的生活のプロセス- 人間的成熟への道>

神に気づく

→神のまなざしの下で自分を知る

→神の慈しみを体験し、神との交わりを深める

→「幸い」をめざして他者とともに生きる。

2) 「心」の祈りを体験する

・「心」の祈り（念禱 oraison） ⇔ 「声」の祈り（口禱）

・2562 「祈るのは心です。心が神から離れているならば、祈りのことばはむなししいものです。」

2709-2719

- ・祈りは自然にできるものではなく、一つの Art である。
ゆえに祈りの仕方を学ばねばならないが、それは体験の中でしか深められない。
- ・祈りの喜びを伝えること。
平和、落ち着き、自分を見出すこと。力・励ましを得ること。人生の意味を見出すこと。
- ・だが、同時に祈りには努力も必要。潜心のための努力。

3) 祈りの基盤

参考書 『神と親しく生きる いのりの道

-幼きイエスのマリー・エウジェンヌ師とともに』

R. ドグレール他著、聖母文庫

A) 神の現存

「わたしを愛する人は、わたしのことばを守る。わたしの父はその人を愛され、父とわたしとはその人のところに行き、一緒に住む。」(ヨハネ 14・23)

「神がわたしのうちにおられる、友としてわたしの内におられます。わたしは決して独りではありません。どんなに低く小声で話しても、神は聞いています。

わたしが愛に成長するのは、神がわたしにご自身を与えてくださる度合いに応じてです。わたしはなんとたびたび自分のいるその深みにいないのでしょうか。それは多くの人達が現代の社会で直面していることです。自分の中心、深みで神を見出すことは、とりもなおさず自分自身を見つけることです。神のうちに自分を見つけるともいえるでしょう。それは同時にこの地上のものの存在意義、その真価を見出すことでもあります。父なる神に創られたものが無意味なことはないのですから。

神はわたしたちを祈りによって

ご自分のうちに入らせるため、いつも 戸を開けておられます。

祈りとは 生ける神に触れること

その時神はことのほか喜ばれ ご自身を与えて下さいます。」

(『祈りの道』 48-49 頁)

B) 信仰

出血病の女のエピソード (マルコ 5・25-34)

C) 聖霊

<参考書>

- ・教皇ベネディクト 16 世『イエスの祈り』『新約の祈り』、ペトロ文庫、
- ・参考サイト <http://comefollowme.info/> 子供のためのカテケーシス
講師 Anne Marie Le Boulis は来年 5 月 GW 中に来日予定。

宗教部会

講話

祈り

2:30-5:30

2:35-3:35 講話

3:35-4:00 祈り（聖堂で）

休憩

4:25-5:25 分かち合い

聖書箇所

1) 2 主こそまことの救い

2) 52 おそれるな、

3) 聖書朗読

ぶどうの木 ヨハネ 15・1-13

4) B4・ここにとどまれ

沈黙（はるひ 祈り）

・53 あわれみたまえ 主よ（主の祈り）

5) キリストの平和

6) いくしみと愛の（sarange nanum